

# 日点委通信

No.39

2023年11月1日発行

## 新副会長挨拶

福井哲也

前副会長の藤野克己さんが2023年2月に逝去されたのに伴い、6月の日点委総会で副会長に選出されることになりました。少しでも自己紹介をしますと、若い頃は東京都に福祉職として勤務していましたが、2001年、42歳のときに社会福祉法人日本ライトハウスに入職。点字情報技術センターで、点字図書編集・校正の仕事に携わってきました。

日点委との関わりは、1994年に当時の点字科学記号専門委員会の端っこにメンバーとして加えていただいたのが最初です。日点委総会に参加したのは、日本ライトハウスに入った2001年からです。2008年に盲人社会福祉界代表委員になりました。ある先輩が、「(点字に関わる人たちの) この世界では、60歳代はひよっこだよ」とおっしゃいました。今64歳、点字業界での経験も浅いまさにひよっこの私です。

点字表記法を決めたり変更したりするためには、多くの議論が必要です。異なる考え方の間でいかに折り合いをつけていくか、委員の皆様が知恵を絞れる環境づくりが大切だと思います。渡辺会長、金子副会長を支え、日点委の活動を常にポジティブに展開していくために何ができるのかを日々考えながら務めて参りたいと思います。皆様よろしく願いいたします。

## 『日本点字表記法 2018年版』第1編第4章第6節の一部修正

2023年7月15日 日本点字委員会

日本点字委員会は、2023年6月3日の第59回総会において、日本における統一英語点字への移行に関連した「表記法」の軽微な修正について、以下のとおり承認した。

(以下、\_\_\_部分は修正した箇所を示す。)

### 第4章 文の構成と表記符号の用法

#### 第6節 日本語文中の外国語

日本語文中の外国語の語句や文は外国語引用符で囲んで書き表すことは、第2章第3節13.です。本節では、特に日本語文中の英語の語句や文の表記について詳述する。

英米をはじめとする英語圏各国における統一英語点字（Unified English Braille：UEB）の本格導入を受け、日本では、英語の教科書・試験問題等について、従来使用してきたアメリカ式英語点字（English Braille American Edition：EBAE）からUEBへの移行を2016年度から進めている。一方、一般日本語文章中に現れる英語の語句や文については、原則としてEBAEに準じた表記を用いるが、必要に応じてUEBの表記を用いても良い。このように、英語については、点字資料の目的と必要に応じて2種類の表記を使い分けるので、いずれの表記を選択すべきかを的確に判断しなければならない。

## 1. 日本語文中の外国語

日本語文中に外国語の語句や文を書く場合、行替えるか外国語引用符で囲んで書き表す。外国語引用符の外側は、分かち書きの規則や表記符号の用法に従うが、外国語引用符の閉じ符号と助詞・助動詞の間は一マスあけ、カッコ類の開き符号との間は原則として一マスあけて書き表す。

日本語文中の英語の表記については、一般日本語文章の場合は下記2.により、また英語の教科書・試験問題等の場合は下記3.によることとする。

一般日本語文章中にドイツ語やフランス語などの語句や文を書く場合も、下記2.により表記することを原則とし、変母音やアクセントの付いた文字はアクセント符（◌̣）を前置して示す。ローマ字で書かれた日本語も同様で、長音にはアクセント符を用いる。なお、いずれの場合にも、内容の理解を助ける場合等には、必要に応じてUEBの修飾符を使用しても良い。

**【注意】**日本語と外国語では、墨字で同形の符号が点字では形が異なることがあるので注意する。たとえば、日本語点字と英語点字では、疑問符や棒線（ダッシュ）・点線の形が異なっている。また、日本語部分と外国語部分の境目にある句読符・カッコ類・棒線・点線などは、どちらの体系に属するかを見極め、外国語引用符の内・外どちらに書くかを判断する必要がある。

## 2. 一般日本語文章中の英語

一般日本語文章中の英語の語句や文とは、娯楽のために読む図書・雑誌に出てくる英単語、アーティスト名や楽曲名、イベント名、ブランド名など、教養書・実用書中の用語に添えられる英単語や著者が参考にした文献名、小・中・高校の教科書のうち英語以外の科目のものに出てくる英語の語句や人名、ローマ字で書かれた日本語などを言う。

これらの英語の語句や文には、EBAE（2008年版）に準じた表記を用いるが、必要に応じてUEBの表記を用いても良い。ただし、使用する符号類は基本的なものに絞ることとする。また、二重大文字符や数符の用法については、UEBの規則を準用する。

## 2023年度日本点字委員会総会及び研究協議会報告

2023年6月3日（土）9：45～16：20、日本点字図書館及びオンラインにより行った。出席者：委員 20名、事務局員 3名、会友 7名、オブザーバー等 14名、計 44名。

### 日本点字委員会第59回総会

委員 23名中出席 19名、委任状提出 4名で、総会は成立する旨確認された。

(1) 2022年度事業並びに決算報告が承認された。

[事業報告の要旨] ①2022年度研究協議会並びに第58回総会、②会計監査委員の欠員補充のためのメール総会、③日本における統一英語点字への移行に関する委員の意向調査、④『試験問題の点字表記』改訂版編集委員会、年度内に4回開催、⑤「日本の点字」第47号、及び「日点委通信」No. 38の編集・発行、⑥書籍等の頒布、⑦点字考案200年記念事業の取り組み、⑧各種事務処理並びに諸連絡、事務局会の開催、ホームページに寄せられた各種問い合わせに対する対応等

(2) 役員欠員補充について。副会長に福井哲也委員を承認した。

(3) 日本における統一英語点字への移行に関する対応について、「表記法」の軽微な修正を承認した。

(4) 2023年度事業計画案及び予算案が承認された。

[事業計画の要旨] ①6月3日に、2023年度研究協議会並びに第59回総会を、日本点字図書館を会場に、来場とオンラインのハイブリッド形式で開催する。②『試験問題の点字表記』改訂版編集委員会を開催し、編集作業を進める。③「日本の点字」第48号及び「日点委通信」No. 39を編集・発行する。④『日本点字表記法 2018年版』をはじめとする書籍頒布を継続する。⑤2025年の点字考案200年に向けて、関係団体と協力し有益な事業を企画・実施する。⑥事務局会を毎月開催する。必要に応じて正副会長会議をオンラインで開催する。⑦その他、当委員会の目的達成のために必要な事業を行う。

### 2023年度日本点字委員会研究協議会

研究協議 (1)

『試験問題の点字表記』改訂版において新たに付け加える事項及び第2版からの主な変更点について (『試験問題の点字表記』改訂版編集委員会)

I 『日本点字表記法 2018年版』との対応 (渡辺昭一委員)

[要旨] 第1部 第2章 第5節「第4章 文の構成と表記符号の用法」における対応

1 句読符等の用法 (第1節)

(1) 読点・中点も原則として原文通り用いるが、省略については、同6. 7. 及び第5章 第5節 3の3. (1)による。(2) 対等関係や比、その他の区切りを表すスラッシュは、前後

ろをマスあけしない。(同8. 参照)

## II 各科目の手順と注意事項

### 1 国語科問題 (坂井仁美委員)

[要旨] 第2部 第3章 第1節 国語科問題作成の手順と注意事項 (第2版との主な変更点)、問題本文について、設問について

### 2 理科問題 (柴田直人委員)

[要旨] 1. 理科の試験問題の点訳の原則について、2. 問題本文や設問について、3. 理科の試験問題の点訳にあたり参考となる文献について

### 3 図・表を含む問題 (福井哲也委員)

[要旨] 1. 点字問題に触図を使用するかしないかの判断、2. 触図の挿入位置とレイアウト、3. 図の編集 (アレンジ)、4. 表に関する留意点

## 研究協議 (2)

### (A) 「明治期の点字表記について」 (金子昭委員)

[要旨] 明治期に書かれた手書き、印刷の点字資料12点を収集、紹介し、明治期の点字表記の特徴について考察した。

### (B) 「文学作品に見る日本点字図書館」 (金子昭委員)

[要旨] 日本点字図書館の登場する文学作品4点について、本間一夫氏、田中徹二氏の書かれた史実と対応させつつ、内容が紹介された。

## 研究協議 (3)

「数式中の条件などを示すカッコについて —数学表記2019年版をめぐる新たな課題—」 (近畿点字研究会) (福井哲也委員)

[要旨] (疑問1) カッコを閉じた後の二マスあけの効果、(疑問2) 式継続符の必要性と効果、(疑問3) 式継続符が<sup>あだ</sup>仇となる場合も、(疑問4) 「条件などを示すカッコ」の範囲が不明確

## 日本点字委員会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-14-102 桜雲会内

電話 080(3216)8600 振替口座 00100-1-42820

Eメール nitteni2021@gmail.com

ホームページ <http://www.braille.jp/>